

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -3

4-
-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ゴミの分別や喫煙ルール等の策定
	節	来訪者マナーの醸成		
事業(施策)名	3	ポイ捨て禁止、不法投棄撲滅による環境保全	事業主体	佐渡市環境対策課
			関連団体	佐渡地区廃棄物対策連絡協議会、佐渡市環境美化指導員、佐渡市不法投棄監視員ネットワーク、佐渡を美しくする会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】	ポイ捨て禁止、不法投棄撲滅の普及啓発により遺産周辺の地域の環境美化を図る。		
	【事業内容】	看板等の設置、関連機関等によるパトロールの強化及び遺産周辺地域のごみ拾い等の環境美化活動を行う。		
⑨事業計画と実績	【29年度計画】	世界遺産登録に向けて、環境美化・整備がいかに重要であるかを「ごみゼロ運動」や「佐渡市一斉清掃」等の環境美化活動の機会を捉えて周知徹底を図る。また、新たに実施する「佐渡クリーンアップ大作戦(2回実施)」においても、世界遺産登録を意識付けできるように取り組む。		
	【29年度実績】	「佐渡クリーンアップ大作戦第1弾(5月13日)」、「ごみゼロ運動(5月30日)」、「佐渡市一斉清掃(6月下旬)」、「佐渡クリーンアップ大作戦第2弾(8月26日)」の実施にあたり、「世界遺産登録を目指す佐渡金銀山」との関連性を強調し、ポイ捨て禁止や不法投棄撲滅の啓発を行うとともに環境美化活動に取り組んだ。また、実施状況についても市報やホームページ等により情報発信を行なった。佐渡市環境フェアにおいて、ポイ捨て禁止等の普及啓発を実施した。		
課題・今後の取組	【課題】	ボランティア清掃の参加者は年々増えており、市民の環境美化の意識の高まりを感じる一方で、現実にはポイ捨て、不法投棄が後を絶たない状況にある。特にポイ捨ては目につきやすいので、より一層の注意喚起が必要と考える。		
	【今後の取組】	不法投棄撲滅のチラシ(カラー版)の全戸配布(年度内)をする。 自宅前や事業所前の道路、歩道の草刈り等環境美化に常日頃から取り組んでもらえるよう呼び掛ける。 引き続きパトロールの強化及びごみ拾いイベント等環境美化活動において、早期の世界遺産登録を意識した啓発に取り組む。		
事業評価	【事業の達成度】 (a · b · c)	通常業務の中で佐渡金銀山の世界遺産登録を全面的にPRし、前年度より取り組み件数は増加した。		
	【事業実施の効果】 (a · b · c)	事業実施の効果については、際立った効果は確認できないものの、関連団体ははじめ市民が取り組んだことによる効果は、今後発現するものと信じ、取組を継続していく必要がある。		
	【総合評価】 (A · B · C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。